

## 研究課題の名称

地域包括ケア病棟における標準看護計画を用いた転倒転落予防の効果

## 研究の目的及び意義

当病棟の看護の役割として、退院後のゴールを意識した ADL 維持-向上にむけた支援がより重要である。

当病棟では、転入早期の転倒転落事故が多く、看護師の経験差によりアセスメントや転倒転落予防対策に異が生じている現状がある。今回「転倒転落に対する標準看護計画」を作成し個々の患者の特性を踏まえた看護アセスメントをカンファレンスで共有し看護過程を評価することで患者のリハビリテーションの進捗病状の変化を踏まえた看護介入が行え、転倒転落事故が減少し、ADL の向上や在宅への早期復帰にげられるのではないかと考える。

## 研究対象者の選定方針

①認知症自立度 a 以上②転倒転落アセスメントスコア以上③日常生活自立度 C 1-C2 以外④転入後から 1 週間以上入院期間がある患者⑤在宅退院又は在宅に含まれる施設への退院を目指している患者上記の①～⑤の条件を満たし、研究の同意を得られた患者

## 研究予定期間

承認日から西暦 2018 年 12 月 31 日。